

山梨県で学校の先生になろう！（先輩教員の声）



忍野村立忍野中学校

養護教諭 堀内 福美

令和5年度採用

山梨県出身

◆学校の先生になった理由

中学生の頃、「なんだかつらい」ときに保健室へ行くことがありました。特別な話をするわけでもなく、ただ保健室で養護教諭の先生と話す時間に癒され、「がんばろう」という気持ちになれました。そうした時間を繰り返すうちに、中学校を卒業するときに「私も養護教諭になりたい」と思いました。その後、医療系の学校で看護師と保健師、養護教諭二種の資格を取りました。社会人になって病院で勤務する中で、出会いや経験を積み養護教諭になりたい気持ちがさらに強くなりました。あらためて大学に進学し養護教諭一種の免許を取って念願の養護教諭になることができました。少し遠回りをしましたが、すべての経験が自分の糧になると信じ、自分が養護教諭になりたいと思うきっかけとなった中学校で、毎日を大切に働いています。

◆学校の先生の「やりがい」や「魅力」

生徒の成長をそばで見守れることが一番の喜びです。特に今まで難しかったこと、ためらっていたことに対して、勇気を出して前に進めた姿をみると感動し、その場面に立ち会わせてもらえたことに感謝の気持ちがわきます。

◆先生になって「楽しかったこと」や「感動したこと」

少しずつ信頼関係ができ、保健室へ話に来てくれる、下校時に外から手を振ってくれるなど、生徒とのささいなやり取りが楽しくて、たくさんの元気をもらっています。風邪をひいてしまったとき、生徒が「大丈夫ですか？」と保健室に心配して来てくれたときは、本当にうれしかったです。

◆学校の先生として心がけていること

養護教諭は学校に一人しかいません。プレッシャーも大きいですが、初任者研修で「学び続けることが、子どもを守り自分自身を守ることに繋がる。」と教わりました。自分自身で知識技術を学び続けることはもちろんですが、一緒に働く先生方や生徒たちから学ぶことが一番の成長につながります。常に「教えていただく」という真摯な姿勢を忘れずにいたいと思っています。



◆堀内福美先生の1日

出勤	5時前に起床して、家族の朝ごはんづくりと娘の保育園準備、状況に応じて保育園に送ってから出勤しています。 学校に着いたら、1日の予定や天候の確認を行いながら、登校する生徒の様子を見守ります。
朝の打ち合わせ	職員室で週2回の全体打ち合わせと毎日の教務での打ち合わせを行います。
出席状況の確認	保健委員の生徒が健康観察簿を授業開始前までに届けてくれるので、出席状況や体調の確認と集計をします。感染症流行の兆しがある場合は、管理職に報告します。
保健室での業務	授業中のケガや体調不良により来室した生徒の対応をします。保健だよりや掲示物、その他の事務作業をします。
給食	保健委員の生徒が歯ブラシトレーの管理をします。季節によって、健康に関する放送を流します。保健室に生徒がいないときは職員室で給食を食べます。
清掃活動	1年生の生徒と一緒に保健室の清掃をします。
放課後	部活動のケガや体調不良に備えて保健室で仕事をしています。部活動後は職員室で学年の先生と生徒の情報共有を行います。
退勤	翌日の予定と戸締りを確認して退勤します。

◆山梨県のよさ

豊かな自然やおいしい果物がたくさんあり、心豊かに生活できます。また、世界遺産の雄大な富士山のように心が広い人柄が何より魅力です。落ち着いた環境で育つ子どもたちなので、素直で優しい子が多いです。

◆山梨県の学校の先生を目指す方へのメッセージ

子どもたちの健康課題が多様化する中で、対応に悩み大変なことも多くあります。その分、子どもたちの成長にたくさんの感動をもらい、自分自身が人として成長できる魅力のある職業です。これから複雑多様化する社会を生きていく子どもたちには、広い視野とたくさんの経験が必要になります。山梨県の子どもたちのために、これまでの経験を活かし、ともに全力を尽くしていきましょう。

◆退勤後や休日の過ごし方（私のリフレッシュ法）

保育園に通う娘がいるので、退勤後や休日は娘中心の生活をします。休みの日には公園で走り回り、家では歌って踊ると、たくさん体を動かして遊びます。祖父母の家ではピアノの弾き語りをするなど、娘の好きなことをして過ごすようにしています。いつまでも娘と楽しい時間が過ごせるよう、自分自身の健康にも気をつけていきたいとあらためて感じています。

子育てをしていると娘から教わることも多く、自分自身も成長の過程にいることに気づかされます。また、娘の成長を見守るように、生徒たちの成長に寄り添っていきたいです。

